



## 1. 第76回入学式、令和4年度始業式・対面式をおこないました。

ご入学、ご進級おめでとうございます。

桜花満開の好季節です。4月7日(木)に入学式、4月8日(金)には始業式をおこない、新たに希望に満ちた237名の新1年生を迎えることができました。

新1年生は、新しい学校での学習や生活に希望といくらかの不安を抱いて、入学式を迎えたことと思います。また、新2、3年生は新たな学年、クラスに期待を膨らまし、始業式を迎えたことと思います。

私たち教職員は、そのような子どもたちの思いを受け止め、子どもたちにとって、毎日が楽しいと実感できる学校となるよう、教育活動を進めてまいります。

保護者の皆様におかれましては、昨年度同様、本校教育活動に対しまして、温かいご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 2. あるクラスの学級通信

新年度が始まり、各クラスの担任の先生から学級通信が発行されています。その学級通信の中で、目に留まった内容がありましたので、ご紹介します。

担任の先生が大切にしている言葉として、「日常の五心」というものがありました。私自身、この言葉を知らなかったため、調べてみると、「五心」とは、ハイという素直な心、すみませんという反省の心、おかげさまという謙虚な心、私がしますという奉仕の心、ありがとうという感謝の心、だそうです。

### 1. 「ハイといえる素直な心」

誰かの呼びかけに対して、素直に『ハイ』と返事をする事ができているだろうか。持ち良く『ハイ』と返事のできる人になりたい。

### 2. 「すみませんという反省の心」

『すみません』には、『これで終わったのではなく、必ず償いをします』の思いが込められている。心して『すみません』と使いたい。

### 3. 「おかげさまという謙虚な心」

私たちは生かされている。分かちあいの心、つくしあう心を深めて、『おかげさま』という謙虚な心を養いたい。

### 4. 「私がしますという奉仕の心」

周りの人のために自分に何が出来るか、させていただけるか、「私がします」という奉仕の心を養いたい。

### 5. 「ありがとうという感謝の心」

『ありがとう』と言う人も、言われる人も、感謝の心で満たされ、穏やかな気持ちになる。生かされているありがたさに気づき、「ありがとうという感謝の心」を養いたい。

※このクラスの学級通信のおかげで、私たちが普段から使っている『ハイ』、『すみません』、『おかげさま』、『私がします』、『ありがとう』の言葉には、深い意味があることに気づきました。深い学びをいただき、ありがとうございました。